



# *Color Revolution*

---

-5色なのにブルージーンズ-



# Color Revolution



TENRYO DENIMが追い求めるの「デニムの可能性」はここまで来た!!

**それはブルージーンズなのに5色。まさに革命!!**

一般的にジーンズを作る生地であるデニムの多くは、インディゴでロープ染色されたタテ糸と白もしくは、生成りのヨコ糸で織り上げられている。生地表面のタテ糸が強調され、裏返してみるとヨコ糸が顔を出す。このシリーズはその名に相応しくジーンズに「革命」を起こす。“普通”のジーンズとの違いは、明らかだ。このジーンズは、インディゴでロープ染色されたタテ糸と、ブラック・ブルー・レッド・イエロー・グリーンの5色のカラーに染められたヨコ糸を色ごとに分けて、織り上げられている。そうすることで、表面はインディゴブルーのタテ糸とわずかに見える各色のヨコ糸が混じり合った独特の表情ができ、裏返すとビビットなそれぞれの色が現れる。

13.5ozのオリジナルセルビッチデニムを採用し、シルエットにはスッキリとしたタイトストレートモデルが登場!



Indigo x Red



Indigo x Black



Indigo x Yellow



Indigo x Green



Indigo x Blue

TDP005



13.5ozセルビッチデニム  
タイトストレート

定価 ¥18,900(税込)  
サイズ 28~34,36

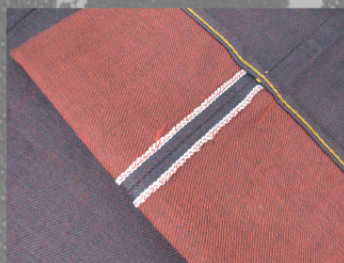


# Color Revolution

このシリーズの最大の特徴である“色”。その裏地を見れば一目瞭然!! 今までにここまで大胆な色のヨコ糸を使用したジーンズが存在しただろうか? ジーンズの醍醐味は、エイジングであり、経年変化。このジーンズなら自分が穿くとこんな色落ちをするのではないかと想像しながらジーンズ選びをするのも楽しみの一つ。しかし、予想に反して変化をするのもまたジーンズの穿く上で楽しみである。このカラーレボリューションデニムには、ブラック・ブルー・グリーン・イエロー・レッドのヨコ糸が使用されており、タテ糸の間から僅わずかに見える鮮やかな色は新鮮、且つ斬新な経年変化が期待できる。その他、「Color Revolution」ジーンズにはさまざまなエイジングが味わえるディテールが満載されている。それらはコアなジーンズフリークも納得できる仕上がりとなっている。エイジング・経年変化は、ジーンズに映すあなたの生活・歴史そのもの、TENRYO DENIMはあなただけの珠玉の一本にと、このシリーズを提案したい。



穿き込んだときのデニム特有の風合いや経年変化を表現するため、非効率ではあるが旧式シャトル織り機で織られた13.5ozのセルビッチデニムが採用されている。



穿き込むことで身体に馴染み、さらに穿きこむことで、その味わいを増すカラーレボリューションデニム。本シリーズは、全カラー「赤ミミ」が採用されている。



フロントボタンには、第二次世界大戦中にアメリカで製造されたジーンズの多くに使用されていた月桂樹の刻印が施されたドーナツボタンが採用されている。



ファッション性も考慮し、立った時でもスッキリと見えるタイトなバックスタイル。バックヨークの縫製仕様やバックポケットのナローステッチなど、ジーンズ好きには堪らない仕様となっている。



コインポケットの生地にももちろんセルビッチが使用され、デニムファンも納得のディテール。ポケット部分に使用されているのは打ち抜きの銅製リベットを採用。



フロントスモールボタンはシンプルなドーナツボタン。品質を追求したシンプル仕様だが、機能性・耐久性に優れた実用性は高い。



折り返したときに、そのヨコ糸の鮮やかさが見える。その色は、インディゴに染められたタテ糸の強調される表面からは想像しがたいが、是非ロールアップして穿きたい。



革パッチには牛革を採用し、デニム生地同様に、洗いをかけたり穿き込むことによって縮んだり、飴色に変化したりとエイジングの楽しめるディテールである。



ベルトループは何度も折り返されて、中央が盛り上がっている。着用することで、この部分が擦れ色落ちを始める。これは本来、機能性や作業着としての強度を高める為の縫製だったが、現在では経年変化を楽しむディテールの一つである。またここは、何重にも生地が重なり縫製が困難な部分であると同時に、職人の技が光所でもある。



# Color Revolution



## これこそが、「Color Revolution」が革命たる由縁

デニムは穿きこめば穿き込むほど、身体に馴染み、“味”が出てくる。そのエイジングは、10人いれば10通りの色落ち、一本として同じものはない。例え、同じ人が同じジーンズを同じように穿いても、同じ表情のジーンズは存在できない。従来のジーンズはインディゴで染められたタテ糸が色が落ちることによって、それぞれ“味”を醸し出す。このシリーズも、同様にインディゴに染められたタテ糸が色落ちをする。しかし、革命が革命たるは、5色のヨコ糸が穿き込み、歴史を重ねることでそこに現れるのがそれぞれ個性的な表情を持つブルージーンズだからなのである。その途中に目にするこの出来るデニムの変化は、コアなジーンズフリークでも想像の域を超えるのではないだろうか？

「穿き込む」という言葉に相応しく、穿くことがより一層意味深くなるジーンズだ。



膝部の色落ちアップ

Indigo x Blue



膝部の色落ちアップ

Indigo x Green



膝部の色落ちアップ

Indigo x Red



膝部の色落ちアップ

Indigo x Yellow



膝部の色落ちアップ

Indigo x Black



\*全ての画像は、色落ちイメージです。